

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着型として定期的な、行事や活動への参加はできているが、より地域との関係性を深めていくには、参加頻度が少ないと思われる。	グループホームあそうだが真に地域の一員となれるように取り組んでいく。	夏祭りなどの大きな行事だけでなく、近所で行われる寄り合いなど小さな集まりにも積極的に参加し、自治会や民生委員などと協同して、地域連携計画を作成し、地域行事予定とあそうだの行事を合同して実施していく。また、地域住民の相談などを受け、共に問題を解決し、地域の生活を支える役割を担っていく。	6ヶ月
2	13	法人全体での勉強会などに参加しているが、それ以外での研修や勉強会にはそれほど積極的に参加できていない。	職員の資質を向上してく	不定期で実施される研修に参加できる時間をしっかり確保し、積極的に参加できるようにしていく。 また業務内でその時々ケースに応じた、接遇や認知症対応、排泄ケア等について対応策などを職員間でしっかり話し合い、知識の共有・事例への対応力などを養っていくようにする。 また個別に作成している事業計画に基づいたパーソナルケアを行っていく	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。